



◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 三輪龍介 ◆編集責任者/担当 副会長 高塚康治 ◆制作・編集 第43期総務・広報委員会/委員長 木嶋康之

9月例会開催「リスクを学ぶ」

平成29年9月15日(金)米子市文化ホールにて9月例会(担当:政治行政委員会)が開催された。



会の冒頭、三輪会長は「スポーツに限らず、会社経営や仕事においても様々なルールがある。そのベースのひとつとして法律が挙げられるが、会社を運営していく上ではそれを守りながらやっていく必要がある。お金や人に関わる場所は、意外に知っているようで知らないことも多いので、集中して本日の例会にて勉強して頂きたい」と挨拶された。

次に新入会員バッジ授与が行われ、金子会員は「自身の成長はもちろん、中央会の発展に貢献できるよう尽力していきます」と抱負を述べた。

続いて金山会員へ第一子誕生の御祝が贈られ、「沢山の御祝の言葉を頂き、ありがとうございます。これから夫婦共に協力しあって子育てに奮闘して参りますので、ご指導よろしく願います」と感謝を述べた。

今回の例会は2部構成(第1部:解説、第2部:ディスカッション)となっており、まず政治行政委員会・橋本委員長より「中小企業の抱える社会的課題と現状を把握し、経営者また経営幹部とし



て知っておくべき知識とリスク管理手法を学び、企業の防衛、更なる繁栄に役立てて頂きたい」と趣旨説明が行われた。



第1部においては「中小企業における社会的な課題と現状」と題し、①企業の抱えるリスク②中小企業のリスク管理の現状③労務リスク④労務リスクに起因する損害の4点について、河上会員が解説を行った。企業リスクの80%以上が人に起因するということから、主に労務リスクに主眼が置かれた内容であった。

第2部においては「企業における身近な落とし穴」と題し、グループディスカッションを行った。ケーススタディとして労務問題の架空事例が挙げられ、その場合企業としてどのようなリスクがあるのか、また守るべきルールは何かをそれぞれグループにて討論した。各グループとも議論は盛り上がり、各設問の最後にグループの意



見を発表する場があったが、非常に的確かつ多様な視点に立った回答が多く出た。各会員の労務リスクに対する関心と意識の高さを感じさせられた。



最後に、福山副会長より「会社経営にとって人は大変重要な要素を占める。人が働けず、労務問題は必ず存在する。思わぬ所に問題が潜んでいるということを再認識するきっかけとして頂きたい」と総括があり、本例会は閉会となった。

(記事:小坂)

9月例会を終えて

政治行政委員会 橋本真和 委員長
(美保テクノス㈱ 基礎技術事業所長)



会員の皆様、9月例会にご参加頂き大変ありがとうございました。今回の例会では、第一部を「中小企業における社会的課題と現状」と題し、中小企業が抱える課題の中から労働問題に着目し、労務リスク管理の重要性について解説を行いました。第二部では「企業における身近な落とし穴」と題し、ごく身近に起こり得る問題をクイズ形式で皆様にディスカッションして頂きました。ディスカッションについては、「意見が出るのだろうか?」「ディスカッションがスムーズに進行できるのだろうか?」「問題は面白いだろうか?」等の不安がありました。会員の皆様からは活発な意見が出てきて本当にうれしく思いました。例会を企画するにあたり、難しい内容を会員の皆様に分かりやすく、企業の中のどのような立場の会員であっても興味を持って参加してもらえるような内容にしようと考えてきました。例会開催まで非常に短い時間でしたが、委員会メンバー皆様の多大な協力があり、自分では納得のいく例会が出来たと思っています。例会当日まで尽力して頂いた委員会メンバーの皆様、ご参加して頂いた会員の皆様には感謝いたします。本当にありがとうございました。

委員会報告

～総務・広報委員会～

9月6日(水)、鳥取県指定保護文化財の高田家住宅で総務・広報委員会が開催されました。私も含め、皆が部屋の造りや装飾、調度品を物珍しく見渡すなかでの開会です。この日は役員



会報告、会員拡大の議題を終えた後、文章の書き方について勉強をしました。資料に沿ったレクチャーの後、ベテラン会員から「通常の文章と広報誌の記事とは書き方の要領は違う」、「前年度

の広報委員会で学んだ内容も引継ぐべき」といった鋭い指摘、意見が出るあたりは流石です。委員会終了後は担当会員が趣向を凝らして企画した懇親会で大変盛り上がりました。3回の委員会を経て、キジマ総務・広報は良い雰囲気と関係性が委員会内に出来上がってきたように思います。



(記事:濱田 修)

鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会事業 講演会

9月13日(水) 米子コンベンションセンターにて鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会事業として講演会が行われた。まず幹事団体である米子商工会議所青年部 野上一成会長が挨拶、上田理恵子副会長が趣旨説明を行った。



続いて京都大学大学院工学研究科 藤井聡教授を講師に迎え、「新幹線が拓く鳥取県西部の未来」と題して講演会が行われた。講演で藤井氏は「未来投資を政府が掲げるならば新幹線を根幹にすべきである」と主張。地方でビジネスができるように新幹線をつくり、分散型国土を形成することが国土強靱化に繋がると熱く語られた。また新幹線を作るによりアクセシビリティが高くなり、民間投資

を爆発的に導くと説明。昭和48年田中角栄内閣の「全国新幹線鉄道整備法」の基本計画に山陰新幹線と伯備新幹線も盛り込まれたことを紹介し、今後の整備計画において、伯備新幹線の将来の実現可能性にも触れられた。最後に「どれだけ重要な路線でも地元の熱意がなければ実現できない」と述べられた。



グループディスカッションでは団体ごとに「新幹線が通る未来の鳥取県西部地域」の可能性を話し合い、発表を行った。

その後米子全日本ホテルに会場を移し懇親会が行われ、盛大に各団体間の交流が図られた。

(記事:福島)

委員長・副委員長交流会



9月9日(土) 倉吉体育文化会館にて牧井県会長をはじめ、各地区の県役員・県出向・委員長・副委員長46名の出席のもと鳥取県中小企業青年中央会委員長・副委員長交流会が開催された。

第1部では株式会社エクセルシャノン 取締役営業本部長、末光喜治氏を講師に迎えエンパワーメント研修をおこなった。顧客満足度アップを目的に、本当の「私とは何か」を知り、コミュニケーション能力を高める講演をしていただいた。

第2部では末光氏の講演をもとに、委員会運営などのテーマ

でグループディスカッションを行い、今後の委員会運営に非常に役立つ議論が交わされた。

委員長・副委員長がお互いの理解を深め、今後の委員会運営をより活発に行うために実りある1日となった。(記事:渡邊)



10月例会に向けて



昨今、慢性化する人手不足や働き方改革などを背景に生産性向上への重点的な取組が求められています。今までと同じような経営感覚では事業継続も危うくなる時代が目前に迫り、今こそ企業の在り方を考える時がきていると考えます。

そこで10月例会では生産性向上の基礎知識として、取組む目的や用語の定義の説明及び既に対策を施している企業の活動事例を数多く紹介します。

難しい内容ではありますが、分かりやすく説明して会員企業において対策を考えるきっかけ作りになれるよう委員会メンバー全員で活動を取組んでいますので、是非ご出席下さいますようお願いいたします!!

生産性向上委員会 西田裕志委員長

(山陰酸素工業(株) 営業本部 技術部 供給技術グループ メディカルチーム 課長)

OB訪問 向井智之OB (第37期ご卒会)

株式会社 向井
米子市彦名町4171 TEL29-0830(代)

【業務内容】 建築工事、土木工事、住宅設備機器、屋根工事、管工事、宅地建物取引業、損害保険代理業



今回は株式会社 向井の代表取締役 向井智之OBに現役時代の思い出についてお聞きしました。

(生田)

やはり一番思い出深いのは委員長の時だと思うのですが、平成22年度スポーツ振興委員会の活動について教えていただけますか？

(向井OB)

委員会では、地域振興を考える上で、中央経済に対しての依

存度の低いスポーツ産業について取り上げました。またビジネスの観点からの検証だけではなく、ガイナレーヤサノオマジックの応援、ボランティア活動、ミニバス教室の開催など、本当にあつという間の一年でした。

(生田)

現役会員へのメッセージをお願いします。

(向井OB)

現役会員でいる間は限られていることを忘れずに、皆で何かを創りあげていくことの過程を大切にしてほしい。青年中央会は、卒会後も付き合っていける仲間を作れる会だと思う。

まずは積極的に参加することで楽しくなる。自ら進んで役を引き受けていって欲しい。

(記事:生田)

LOVE LOVE 中央会 ~中央会をふりかえって~

田中 猛 (田中正夫建築設計事務所 米子事務所長)



私が入会したのは41歳になる誕生日、まさにギリギリ…。そしてあつという間にOB目前となってしまいましたが、短い期間ながらも大変濃い中央会ライフを現在も満喫させて頂いております。

お題が「中央会を振り返って」ということですが、私が中央会に入って良かったと心から思えた

のは委員長を務めた時です。初めて会の中心に身を置き、自分の委員会を引っ張り、事業を企画運営することには思っていた以上に大きな苦労と困難がありました。気持ちが折れそうな時もありましたが、常にスポットライトを浴びさせてもらい、委員会メンバーに支えられ、自分のやりたいことを実現できたことは何よりの幸せでしたし、今後なかなか得ることのない経験・財産となりました。

これまで短い在籍期間ですが、新入会員として、副委員長として、委員長として様々な立場での役割を務め、勉強させてもらいました。今、新たに卒会会員の立場となり、この一年何をすべきか模索中です。とりあえずは卒会者だからと言って、皆さまに大事にされるばかりではなく、新入会員のつもりで自分自身が積極的に活動し、悔いの残らないように全事業出席して、まだまだいろいろ吸収していきたいと思います。残された中央会ライフ、皆さまどうぞよろしくお願い致します！！

第3回大山お地藏さまフェスティバル 及びお地藏さまプロジェクト 事業成就祈願

地域交流委員会 委員長 堀尾一仁
(株堀尾建築設計事務所 専務取締役)

9月10日(日) 大山寺本堂にて、地域交流委員会メンバーで第3回大山お地藏さまフェスティバル及びお地藏さまプロジェクトの事業成就祈願をして参りました。

新秋の爽やかな風がそよぐなか、来年5月に開催される大山お地藏さまフェスティバルへの想いを巡らせながら、大山寺参道の石段を一段一段登っていきました。

本堂内は、時折 清らかな風が入りこみ、今後の活動の事業成就及び5月のフェスティバル成功へ、身の引き締まる思いで包まれました。祈願もしていただき、今後さらなる強い想いで、皆と一丸となって突き進んでまいりたいと思います！

平成30年5月13日(日)開催の第3回お地藏さまフェスティバルを、皆様楽しみにお待ちください！！



Motto 教えて

向井 幸紀 (鳥取銀行 旗ヶ崎支店 支店長代理)

私ごとではございますが、8月に米子営業部から旗ヶ崎支店へ転勤しました。転勤から1ヶ月が経ちましたが、まだ慣れないことが多く日々悪戦苦闘しております。さて、「Motto 教えて」というテーマですので、私の銀行員生活を少し振り返ってみたいと思います。

入行して初めての配属先は境港支店でした。営業担当として個人のお客様に対し、銀行も扱い始めたばかりの投資信託を販売していました。2年間所属し、初めての転勤辞令。2店舗目は岡山支店となりました。完全アウェーの土地でしたが、法人融

資業務やアパートローンを主に担当しておりました。岡山支店も2年間所属して次の辞令により津山支店へ転勤しました。津山支店でも法人融資を主な業務としておりました。津山は意外と鳥取銀行のシェアが高く、仕事をしやすい地域でした。3年間所属し次の4店舗目は鳥取市内にある鳥取西支店でした。鳥取西支店では主に内勤で融資係をしておりました。そして5店舗目が米子支店(現在の米子営業部)。店舗新築移転というプロジェクトがありましたので4年以上所属しておりました。そして、今回の旗ヶ崎支店が6店舗目ということになります。今回の転勤が初めて「住所を変更しない転勤」でした。銀行員生活14年で6度の転勤ですので1店舗あたり約2年です。逆に言えば2年間は「転勤」はないということですので、ますます中央会活動に力を入れていきたいと思っております！！

響け中央会

第43期会長 三輪龍介

今期は各会員が、リーダーとして周りへ影響を与えることのできる人間となること（もちろん良い影響を）を目指して、「響」というスローガンを掲げております。

既に会社でリーダーの立場である方が多いと思いますが、立場だけでなく中身も真のリーダーとなるために、社内の人間関係や、部下の育成など、人に関わることで日々思い悩まれる方も多いのではないのでしょうか？

私がそのような悩みにおち当たったときに影響を受けたのは、ご存知の方も多いでしょうが「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」という山本五十六連合艦隊司令長官の言葉で、今も心掛けています。皆さんは真のリーダーとなるためにどのようなことをされておられますか？

野球部新OB送り出し試合・送り出し会

～牧田新OBが好投！小椋新OBが快音を響かせた！～

新井 翔太（サンイン・フーズ㈱ 主任）

8月27日伯耆町総合スポーツ公園野球場にて送り出し試合が開催されました。天候にも恵まれ、絶好の野球日和でした。

今回は竹ノ内新監督と高塚新キャプテン率いる西部チーム対東部チームの試合ということで「お互い負けるわけにはいかない」両チームとも本気となる試合となりました。試合は1点を争う展開で進み、結果は7対4で西部チームが勝利しましたが、両チームとも新OBを気持ちよく送り出すことができました。

試合後には、東部から森原新OB、松島会員の2名にもご参加いただき、徳中OBのお店にて送り出し会が盛大に開催されました。

野球部全員で新OBの誕生を祝い、いつものように中央会や野球部への思いを語り、皆が笑顔となる中、送り出し会は閉会となりました。



（生産性向上委員会）



貝 森 正 教

LOOP's 米子打設
コンクリート圧送施工
〒683-0804 米子市米原9-3-16
TEL 21-0570 FAX 21-4170
(KT) 090-3881-6514
(EM) gynnn220@yahoo.co.jp

AB型
代表

S53.04生

〈コメント〉はじめまして。米子でコンクリート圧送業を営む貝森正教と申します。私のモットーは仲間を大切にすることです。まだ未熟ではありますが、今後とも宜しくお願いします。

（地域交流委員会）



金子 賢 之

Lotus㈱
総合葬祭事業
〒683-0852 米子市河崎1670-2
TEL 050-5243-4439 FAX 30-0325
(KT) 080-3886-8250
(EM) t45k.1984@gmail.com

AB型
代表取締役社長

S59.04生

〈コメント〉貴重な経験と勉強をさせていただきたく入会を希望致しました。まだまだ駆け出しの若輩者ですが諸先輩方の足を引っ張らぬよう中央会の活動に尽力して参りますので、ご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます！

中央会交響曲

副会長 秋里 武信

私が43年間生きてきて、一番影響を受けたものと言えば…Vシネマ…ではなく、やはり中央会に入会して得た、様々な方々との出会いと経験です。読書なんて趣味も無く、知識も見識も無い私は、いわば野良犬。恥ずかしい話、話し方、メールのやり方、文章の作り方、物事の進め方、仕事、経営…全て中央会で学びました。今現在も学びの真っ最中、先生は中央会の現役・OBの皆様、またこれから関わる多くの方々。そんな考えになれたのも中央会の影響だと思えます。

自己研鑽の甲斐あって野良犬も「お手」「待て」が出来るくらいは成長できました。私に残された時間もあと2年。わずかな時間ですが、日々、無駄にすることなく一人前の人間になれるよう頑張って参りたいと思えます。

TSCサッカー部懇親BBQ

8月19日（土）日吉津村海浜運動公園にてTSCサッカー部の懇親バーベキュー大会が開催された。三輪会長にもご参加いただき、開放的な空間で終始和やかな雰囲気の中でサッカー小僧たちが団結を強めた。昨年度に結成されたサッカー部は定期的に練習試合を重ねており、現在まで無敗。今期は地域のフットサル大会に参加することが足立駿キャプテンより発表された。レベルの高い大会への参加ということで、どこまで通用するのか腕試しとなりそうだ。また、部員は随時募集中であり、気軽に参加して欲しいとのこと。今後のサッカー部の活動から目が離せられない。（記事：恵比木）



所属企業名称変更のお知らせ

石井美佳会員

(旧)株式会社 ホテルマネージメント米子(米子全日空ホテル)
(新)株式会社 ホテルマネージメント米子(ANAクラウンプラザホテル米子)
リブランドにともないE-mailアドレスが変わりますので会員手帳の修正をお願いします。

E-mail:mika_ishii@anacpyonago.com

10月役員会報告

平成29年10月2日(月)米子市公会堂第1集会室にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・9月例会報告の件
- ・10月例会開催の件
- ・11月例会開催の件

詳細については各委員長にご確認下さい。

10月例会案内

と き：平成29年10月16日(月) 19:00～21:00

と ころ：ヴィステヒえづ ヴィステホール

内 容：第1部 生産性向上の目的、意義及び用語の定義説明
：第2部 生産性向上における導入事例紹介

担 当：第43期生産性向上委員会

編集後記

今期、ハンサム記事の執筆や編集に関わせてもらっていますが、その度に日本語は奥深いなと感じています。思いや言葉を過不足なく伝える難しさ、そして案外知っているようで知らない日本語のルール…。ああ、まじめに国語の勉強しておけば良かった。

(広報委員会 小坂 泰彦)

〈新入会員〉